

高齢者の肺炎球菌感染症予防接種（定期接種） ～接種を受ける前に必ず読んでください～

肺炎球菌感染症とは？

肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。

この菌は主に鼻水、だ液などを通じて感染します。日本人の約3～5%の高齢者では、鼻やノドの奥に常に菌がいるとされます。

持病の悪化や体調不良などをきっかけに感染症を引き起こす可能性がある病気で、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。日常でかかる肺炎の原因となる菌で最も多いのは、肺炎球菌です。

予防接種を受ける前の注意事項

- ①このチラシをよく読んで必要性や副反応についてよく理解しましょう。
- ②気にかかることやわからないことがあれば、予防接種を受ける前に担当の医師や看護師に質問しましょう。
- ③この予防接種は法律上の義務はなく、あくまでもご本人の意思によるものなので、十分に医師から説明を聞き、理解をした上で判断してください。
- ④予診票は接種する医師への大切な情報です。責任を持って記入するようにしましょう。
- ⑤自らの意思で予防接種を希望し、予診票の実施に関する明示の同意をした場合に限り接種を行います。
- ⑥すでに肺炎球菌ワクチンの接種を受けたことがある方は定期接種対象外となりますので、必ず接種歴を確認してください。

※過去5年以内に、肺炎球菌ワクチンを接種されたことのある方が、再度接種された場合、注射部位の痛み、赤斑（赤み）、硬結（しこり）等の副反応の頻度が高くなり、程度も強く発現するとの報告があるため、必ず接種歴を確認してください。

予防接種を受けることができない方

- ①接種の時点で37.5℃以上の発熱のある方
- ②重篤な急性疾患にかかっている方
- ③接種ワクチンに含まれる成分によって、アナフィラキシーを呈したことが明らかな方
＜アナフィラキシーとは・・・＞

通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。発汗・顔が急に腫れる・全身にひどいじんま疹が出る・吐き気・おう吐・声が出にくい・息が苦しいなどの症状に続き、血圧が下がっていく激しい全身反応です。

- ④その他、医師が不適当な状態と判断した場合

※上の①～③に入らなくても医師が接種不適当と判断したときは接種できません。

裏面もあります

予防接種を受けるに際し、お医者さんとよく相談しなくてはならない方

- ①心臓血管疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する方、またはその他の慢性の病気で治療を受けている方
- ②予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- ③今までに、けいれんを起こしたことがある方
- ④今までに、免疫不全の診断がされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤接種ワクチンに含まれる成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方

予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ①予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- ②接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。
- ③接種当日はいつもどおりの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒はさけましょう。
- ④接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。
- ⑤このワクチンを接種した後、違うワクチンを接種する場合、接種間隔に制限はありません。また、医師が特に必要と認めた場合に同時接種を行うことができます。(同時接種とは2種類以上の予防接種を同時に同一の接種対象者に対して行うことです。)

新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンは同時に接種できません。互いに2週間空けて接種してください。

ただし、新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンとの同時接種は可能です。

予防接種の副反応

- *注射したところの痛み、腫れ、赤みを帯びることがあります。また筋肉痛や全身のだるさ、寒気、頭痛、発熱などがみられることがありますが、いずれも通常2～3日のうちに治ります。
 - *まれに重い副反応としてアナフィラキシー様反応、血小板減少、知覚異常、ギランバレー症候群、蜂巣炎様反応等が報告されています。
- ⇒症状が重い場合は、主治医の診察を受けてください。万が一、ワクチン接種によって重い副反応や障害が残ったような場合、厚生労働大臣が予防接種法に基づく定期の副反応によるものと認定したときは、予防接種法に基づく健康被害救済の給付の対象となります。担当課へご連絡ください。

◎その他、わからないことがある場合は下記にご連絡ください。

担当：黒石市 健康福祉部 健康推進課
電話：52-2111 (内線)244・245
FAX：52-6191